外水はん濫・内水はん濫とは

増水した河川の水位が堤防の高さを越えたり、堤防が河川の流れによりけずられて決壊し水が流れ込むことです。

河川から水があふれるのではなく、降った雨を河川へ排水しきれなくなり下水道や側溝などから水があふれることです。

雨の強さと降り方

1時間に20㎜以上の大雨が降ったり、降り始めてから100㎜を超えると災害が起こる危険性があります。雨の様子や気象情報に注意を払いましょう。

河川やがけなど災害の危険性のある場所には近づかないようにしましょう。

河川水位について

避難行動の目安となる情報です。水位情報に注意し、はん濫が発生する前に避難を完了しましょう。

氾濫発生情報	狩野川 徳倉	狩野川 大仁	大場川 大場	来光川 蛇ヶ橋
氾濫危険情報	7.20m	4.40m	7.60m	8.45m
●避難が完了していることが求められます。避難が完了していない場合は、最寄りの公共施設や自宅（2階以上）など身の安全が確保できる場所へ速やかに移動してください。				
氾濫警戒情報	6.80m	3.70m	7.20m	8.10m
●高齢者や幼児等は、指定緊急避難場所へ避難してください。●そのほかの方は避難の準備を整えて、状況に応じ自発的に避難してください。				
氾濫注意情報	4.00m	2.10m	4.80m	5.20m
●テレビやラジオなどで最新の気象情報、災害情報に十分注意してください。●避難時に持参する避難用品などを準備してください。				
	3.00m	1.50m	3.00m	3.70m

※「川の防災情報」で確認できます。

情報の入手先と伝達経路

国 静岡地方気象台 / 静岡県 → 警戒レベル（レベル1～2） 防災気象情報など → 情報伝達手段：テレビ・ラジオ・インターネット / 緊急速報メール（エリアメール） → みなさん

沼津河川国道事務所 検索
狩野川のライブカメラ映像や防災情報

SIPOS-RADAR 検索
静岡県土木総合防災情報。最新の河川情報、防災情報、気象情報

川の防災情報 検索
川の水位や雨量など、さまざまな防災情報

総合防災アプリ「静岡県防災」 検索
各種緊急情報の通知、ハザードマップの確認、防災知識の習得や避難トレーニングなど、複数機能を備えたアプリケーション

静岡地方気象台 検索
天気予報や気象の警報・注意報、台風情報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報などの災害情報

積極的に情報収集をして早めの避難に備えましょう！

市からの避難情報は３つのルートで伝達します

避難情報は、確実に伝達するため避難対象地区の自治会長経由で伝達します。避難対象地区のみなさんは常に自ら情報を取得し、早めの対応を心掛けてください。

三島市
- A 電話連絡 → 自治会長 → 組長・防災委員 → みなさん
- B 同報無線（声の広報）、ラジオ、市民メール、緊急速報メール、テレビなど → みなさん
- C 消防団 → 広報・戸別訪問 → みなさん

同報無線テレフォンサービス

同報無線で放送した内容を電話で確認できるサービスで、過去２４時間以内の放送内容が確認できます。

フリーダイヤル **0120−212184**

フリーダイヤルが利用できない場合
055−975−2121（通話料負担）

同報無線（声の広報）が受信できる「三島市防災ラジオ」は、１世帯１台に限り、１台 1,000 円で販売しております。

みしまるホッとメール

市では、危機管理情報をはじめとした各種情報をメール配信しています。気象、地震、Jアラート情報は、必須項目でメール配信されます。

「LINE」を活用した情報発信

災害・緊急情報、イベント情報、市からのお知らせなど

登録方法

mishima-entry@sbsrelief.isseimail.jp へ空メール ▶ 「登録のお知らせ」のメールを受信 ▶ ☑配信を希望する情報を選択

メールに記載されているリンクから登録・変更用サイトへアクセス

▼

「本登録完了のお知らせ」のメールが届けば登録完了！

警戒レベルととるべき行動

【警戒レベル３】や【警戒レベル４】では、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル5	【命を守る最善の行動】既に災害が発生している状況です。	災害発生情報（市が発令）	警戒レベル５相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4	【全員避難】速やかに避難をしましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合はより安全な場所へ避難しましょう。	避難指示（緊急）避難勧告（市が発令）	警戒レベル４相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3	【高齢者等は避難】避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始（市が発令）	警戒レベル３相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル2	【避難行動の確認】避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 洪水注意報（気象庁が発表）	氾濫注意情報
警戒レベル1	災害への心構えを高める。	早期注意情報（気象庁が発表）	

高 ▲ 危険度 ▼ 低

災害時の連絡手段

災害用伝言ダイヤル「171」/ web「171」

NTTでは、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況の際に、電話やインターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板を提供します。

伝言の登録方法
- 電話：171にダイヤル → 「1」をダイヤル → （市外局番）＋電話番号 → 伝言を録音
- Web：web171にアクセス → 電話番号を入力 → 登録ボタン → 名前/安否/伝言を登録

伝言の確認方法
- 電話：171にダイヤル → 「2」をダイヤル → （市外局番）＋電話番号 → 伝言の再生
- Web：web171にアクセス → 電話番号を入力 → 確認ボタン → 伝言内容の確認

伝言ダイヤル・伝言板　体験利用提供日
毎月1日・15日/1月1日～3日
8月30日9：00～9月5日17：00（防災週間）
1月15日9：00～1月21日17：00（防災とボランティア週間）

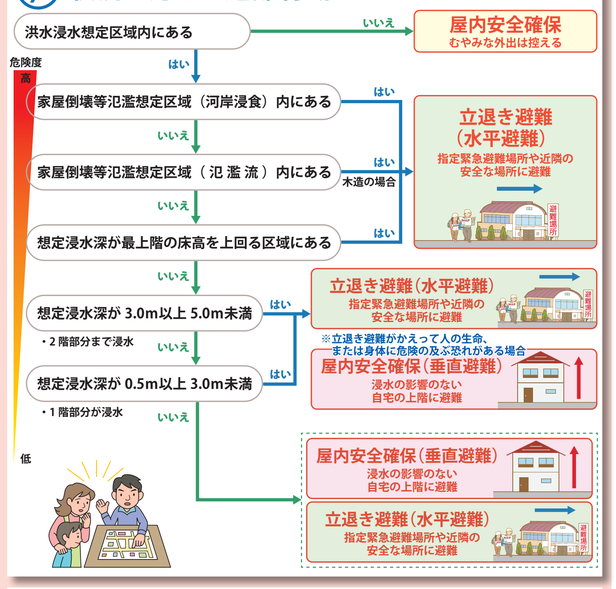
災害用伝言板

災害時に各携帯電話会社が「災害用伝言板」を緊急開設します。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録や確認をすることができます。

公衆電話

災害時、通常回線は繋がりにくいですが、公衆電話は比較的繋がりやすいといわれています。

状況に応じた避難行動

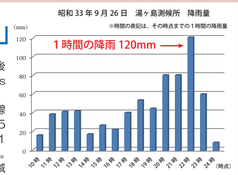


過去の水害「狩野川台風」

昭和33年9月21日グアム島近海に発生した台風22号は、その後発達しながら北上し、中心気圧 877hPa、中心付近の最大風速 75m/s に及ぶ戦後最大級の大型台風となりました。

その後も強い勢力を保ったまま伊豆半島南部付近を通過し、秋雨前線を刺激して猛烈な雨を降らせました。伊豆地域の降水量は、およそ 15 時間余りで 700mm 以上となり、この日の天城山は、「1 年分の雨が 1 日にして降った」、バケツをひっくりかえしたような豪雨となったのです。

狩野川流域では多数の土砂崩れが発生し、土石流などとなって上流域に多大な被害をもたらしたほか、中下流域では、いたるところで堤防が決壊し、河川の氾濫によって田方平野は大災害を被りました。また、夜間であったことから人的被害は大きく、狩野川流域だけで一夜にして死者・行方不明者 853 人、堤防の決壊 24 カ所、被害家屋 6,775 戸の大災害となりました。



防災メモ

洪水ハザードマップを見て、危険箇所に注意しながら、自宅から避難所までの経路を書き込みしましょう。

近くの避難先

指定緊急避難場所

いざというときの連絡先

名前	電話番号

わが家の危険度チェック！

ご自宅に該当するランクをチェックしましょう

浸水深
□ 5.0m以上
□ 3.0m以上　5.0m未満
□ 0.5m以上　3.0m未満
□ 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域
□ 想定区域内
□ 想定区域外
土砂災害警戒区域等
□ 土砂災害警戒区域
□ 土砂災害特別警戒区域

ご自宅にどんな危険性があるかチェックしましょう

問い合わせ先
三島市　危機管理課
TEL 055-983-2650
土木課
TEL 055-983-2636

三島市では洪水ハザードマップと共に、水害ハザードマップ、土砂災害ハザードマップを作成しています。併せて参考にしながら避難について話し合いましょう。

水害ハザードマップ　土砂災害ハザードマップ

土砂災害の種類と前兆現象

もし 前兆現象を見かけたら、直ちに その場から離れましょう！

土石流

山腹や谷底にある土砂が、大雨などによる大量の水と一緒に激しく押し流される現象

前兆現象
- 山鳴りがする
- 川の水が濁り流木が混ざる
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる

急傾斜地の崩壊

雨や地震などの影響で地盤がゆるみ、突然斜面が崩れ落ちる現象

前兆現象
- 小石がパラパラと落ちてくる
- がけから水が湧き出ている
- がけにひび割れができる

地すべり

地下水などの影響により、斜面を構成する土塊が斜面下方に大きくすべり出す現象 ※三島市内には、地すべりの指定区域はありません。（発行時点）

前兆現象
- 地面にひび割れができる
- 地面の一部が陥没・隆起する
- 沢や井戸水が濁る
- 斜面から水がふき出す

土砂災害警戒情報

いつ土砂災害が発生してもおかしくない非常に危険な状態

積極的に情報収集しましょう

土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まった市区町村を対象に発表されます。気象や雨量、土砂災害危険箇所の状況に注意し、早めの避難を心がけましょう。土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域にお住まいの方は、特に早めに避難しましょう。

非常時持出用品

防災用品
- □持出用リュック
- □携帯電話・充電器
- □軍手・手袋
- □懐中電灯
- □予備の電池
- □携帯ラジオ
- □ホイッスル

飲料水・非常食
- □飲料水（1人1リットル程）
- □非常食（調理不要のもの3食）

着替え・防寒着
- □レインコート
- □上着・防寒着
- □下着・靴下

医療品
- □常備薬
- □絆創膏・包帯・傷薬
- □おくすり手帳

貴重品
- □現金（紙幣・硬貨）
- □印鑑
- □預金通帳・証券類

衛生用品
- □携帯トイレ
- □ウェットティッシュ

身分証
- □健康保険証
- □身分証明書（コピー可）
- □免許証
- □障害者手帳

お年寄りがいる場合
- □介護用品（車いすなど）
- □常備薬
- □流動食

女性用品
- □生理用品
- □化粧品
- □ひざかけ
- □手鏡

乳幼児がいる場合
- □粉ミルク
- □離乳食
- □哺乳瓶
- □携帯やかん・燃料
- □紙おむつ・おしりふき
- □おんぶひも
- □防寒用品
- □母子手帳

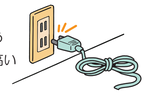
日ごろの備え

大雨の時はこんな場所が危険です。

- ▶わが家の災害危険性を把握しておきましょう
  ☞ 防災メモ：わが家の危険度チェック！
- ▶緊急時の連絡方法、連絡先など、家族で話し合っておきましょう
  ☞ 防災メモ：いざというときの連絡先
- ▶非常時持出用品の確認をしましょう
  ☞ 非常時持出用品

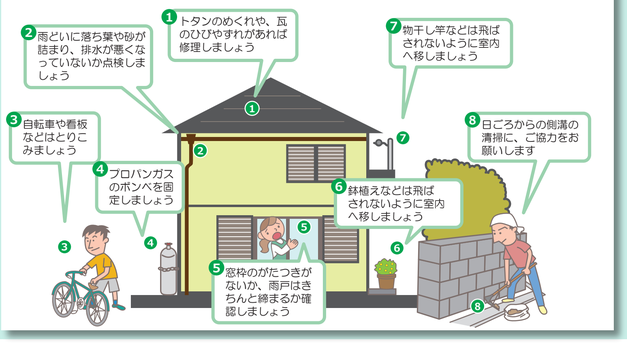
大雨・台風の時の備え

- ▶警戒レベルや避難情報、気象情報などを積極的に収集しましょう
  ☞ 警戒レベルととるべき行動
- ▶いつでも避難できるよう、非常時持出用品を準備しておきましょう
  ☞ 非常時持出用品
- ▶電気製品のコンセントは抜いておきましょう
- ▶浸水に備え、家財道具や家電は、少しでも高いところに移動しておきましょう



わが家の安全対策

被害を軽減するために、日ごろから家屋などの周りを点検し、万全の対策を立てておきましょう。



避難時における注意事項

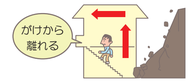
危険と判断したら早めに自主避難しましょう！

履きなれた底の固い運動靴で避難しましょう！

足元のマンホールや側溝には注意しましょう！

急な増水がはん濫をまねきます。雨の降り方には気をつけましょう！

逃げ遅れたら、生命を守る行動をとりましょう！できるだけ危険から遠ざかることが重要です



避難時はがけ地にも注意しましょう！

要配慮者を守ろう

要配慮者とは、災害時に何らかの手助けが必要な方たちのことで、「高齢者、障がい者、妊産婦や乳幼児、病気やけがをした人、外国人など」をいいます。突然の異変が起きたとき、要配慮者はその状況を直ちに理解することができず、強い不安とストレスを感じるため、地域の皆さんの協力と支援が不可欠です。

- 簡潔に、わかりやすい言葉で、大きな声でゆっくり、はっきりと
- 口頭で伝えるだけでなく、メモなどの文章とあわせて
- メモを書くときは、大きな文字で、ひらがなを多く使う

目の不自由な人
- ●腕を貸す
- ●盲導犬には触れない

外国人
- ●身振りを交えて伝える

車いす利用者
- ●乗るとき、降りるとき、止まったときはタイヤをロック

耳の不自由な人
- ●筆談を使いながら話す

高齢者
- ●おんぶする
- ●腕を貸す

妊産婦・乳幼児
- ●体調に気を配る